

1 富士山クリーンアップの推進～富士山ごみ減量大作戦～

静岡県の
取組み

今年の富士山は、8月の好天と世界文化遺産への暫定リスト登載などを受け、過去最大の登山者数を記録しました。数年前まで「ごみの山」と酷評されていた富士山も、長年にわたる清掃活動や登山マナーの向上により、五合目以上の登山道周辺のごみはほとんど見られなくなりました。

しかしながら、登山道を外れた山肌には、風に飛ばされたごみや過去に捨てられたごみが残っている場所もあります。また、五合目以下の道路沿いには多くのポイ捨てごみが見られ、まだまだ充分とはいえない状態が続いています。

静岡県では、これらのごみの一掃を図るため、昨年度から「富士山ごみ減量大作戦」と称し、ボランティアとの協働で清掃活動を実施しています。

山麓部での清掃活動

ポイ捨てなどの多い山麓部では、一般公募で参加者を募集し、富士山麓の国道協などを主体として清掃活動を実施しています。



山麓での清掃活動の様子

活動成果

	参加者数	ごみ回収量
第1回(H18.6)	25人	360kg
第2回(H18.10)	50人	640kg
第3回(H19.6)	106人	650kg
第4回(H19.10)	雨天中止(台風20号)	
合計	181人	1,650kg

道路脇の山林や草むらからは、飲料容器や弁当屑などのポイ捨てごみのほか、わざわざ持ち込み捨てていったと思われる、タイヤ・家電製品などの大型のごみも発見されました。参加者の方々も、「なぜこんな所に捨てるの?」と信じられない様子でした。

また、今年の6月には「富士山エコレンジャー」を講師に迎え、県の新規採用職員研修として初めて富士山麓部での清掃活動を行いました。

このほかにも最近では、各種企業・団体による自主的な清掃活動も盛んに行われるようになってきました。一般公募の活動もありますので、皆さんもぜひ一度参加してはいかがでしょうか。

山肌の清掃活動

さらに、今年度新たな取組としてはじめてのが、登山道を外れた山肌での清掃です。危険を伴う作業のため、山岳関係団体や富士山エコレンジャーの協力を得て、山小屋関係者・関係行政機関とともに清掃活動を実施しました。

須走口の山頂部分では、「富士山頂合同クリーン作戦2007」として、初めて山梨県と合同で清掃活動を行いました。



富士宮口八合目での活動

活動成果		
	参加者数	ごみ回収量
富士宮口 (H19.9.2)	77人	960kg
須走口 (H19.9.9)	132人	3,133kg
合計	209人	4,093kg



須走口山頂での合同クリーン作戦

回収されたごみは、最近風で飛ばされた帽子やペットボトル・菓子袋などのほか、杖に付けられていた鈴や錆びた空缶、ビン類などの不燃物が多く、昔捨てられたごみが未だ残っている場所があることがわかりました。

世界に誇ることができる美しい富士山を目指し、今後もこれらの地道な活動を続けて富士山クリーンアップを推進していくとともに、富士山保全意識の高揚につなげていきます。

